

令和2年7月豪雨災害による被害状況について

(消防庁情報：令和2年7月12日13時現在)

1 概要

梅雨前線が西日本から東日本に停滞し、前線上の低気圧が九州付近に影響を与えた。九州地方では、降り始めの7月3日から7月10日までの総雨量が1,100ミリを超えた地域もあり、記録的な大雨となった。熊本県や鹿児島県、岐阜県、長野県では、一時、大雨特別警報が発表された。各地域では土砂災害や洪水の危険度の非常に高い状態が続き、特に熊本県の球磨川が氾濫し、大きな被害が発生した。

2 被害状況

	死者 (人)	行方不明 (人)	負傷者 (人)	住家被害 (棟)	孤立状況 (世帯)
合計	68	12	19	12,660	270

※熊本県内で浸水被害多数

3 災害救助法の適用状況について

6県、27市、13町、11村に災害救助法の適用を決定

4 岐阜県、長野県に大雨特別警報発表（7月8日）

協定先の東御市、岡谷市は対象外（同日、電話連絡にて被害なしを確認済み）

5 災害義援金について（区のホームページで掲載）

地域力推進課及び1階受付カウンター、各特別出張所で受付中